

第2回基本構想審議会における指摘事項への対応について

資料 1 - 2

議題	主な指摘事項	事務局の対応
交野市の特性	12 年先を見据えるために将来人口推計が必要ではないか。	本市の将来人口推計を作成し、結果をお示しします。 → 資料 1-5
	後期高齢者の増加が地域に深刻な影響を与えることに留意すべき。あわせて、福祉を充実させる姿勢が重要では。	将来課題の中で、高齢化の特徴と影響について記載します。また、高齢化の中身を見える化するために、人口統計を4年齢区分とします。福祉施策の内容については、基本計画でお示しします。
	基本構想と個別行政計画が横並びで進んでいくような全体デザインが必要ではないか。	基本構想が示すまちづくりの目標に向けて、基本計画で具体的な取り組みについて記載します。基本計画の各施策は、所管部局が持つ行政計画と連携させるため、それぞれの進捗が結びつくこととなります。
	縦割りの各部局がどう連携し取り組んでいくかが重要となる。	分野横断的な取り組みを進めるにあたり、リーダーシップを発揮すべき部局や、連携のための仕組みが必要です。分野横断的な施策の推進手法については、基本計画に記載することを検討します。
	まちの強みや特徴を活かし、打ち出すことが必要ではないか。	まちの将来像や、まちづくりの目標を設定するにあたり、本市の特徴を踏まえたものとする予定です。基本計画においても、強みを生かす視点が含まれるものと考えています。
	市民意識調査について、地域別集計ができないか。	5つの地域別に集計を行い、結果をお示しします。 → 資料 1-3
	交野の強みに、障がい者施策を含められないか。戸建て率の高さが弱みにならないか懸念。	基本構想は全体的な表現となるため、基本計画において個別分野の特徴（現状や強み弱み等）や取り組みの方向性を記載する予定です。
将来に向けての課題	今後の協働のあり方について検討が必要ではないか（これまでの手法の限界。ソーシャルビジネスへの支援。）。	基本構想における将来課題に、協働の課題等について記載します。また、まちづくりの目標を達成するための基本姿勢として、協働の考え方を記載する予定です。
	今後、情報化によって社会が大きく変化する。基本構想に含めることが重要ではないか。	将来課題に記載するとともに、まちづくりの目標を達成するための基本姿勢として、DX（デジタルトランスフォーメーション）の考え方を記載する予定です。
	地域社会の担い手不足、地域コミュニティの大切さを記載できないか。	基本構想における将来課題に、地域社会の課題等について記載します。また、まちづくりの目標においても、コミュニティの重要性について記載します。 → 資料 2-2